

1 事業の名称	地域農業の担い手となる新規就農者の育成および支援
2 具体的な事業内容	<p>(1) アグリ甲斐の営農指導により、農業技術の習得、農作物の栽培・収穫・出荷・販売などの活動</p> <p>(2) 農業者や地域住民とコミュニケーションを図り、現場において色々な情報を収集し、SNS等を活用して市川三郷町の農業・農作物の魅力や情報を発信する活動</p> <p>(3) 農業体験・収穫体験等の各種農業イベントの企画・参加、その他農業振興を図るための取り組み</p>
3 事業の実施により期待される効果	<p>新たな就農者育成により農業の地域産業としての継続・発展、弊社事業規模拡大による雇用確保、また農地荒廃化抑制により美しい田園風景を次世代に贈り届けることで、地域社会に必要とされるよう取り組んでいきます。</p>
4 事業のスケジュール	<p>◆各年ごとのスケジュール（任期3年とした場合）</p> <p>●1年目：指導・指示に基づき、農作業補助を行う。大型特殊自動車（トラクタ等）運転資格の取得。弊社実例により農業経営への理解を行う。</p> <p>●2年目：指導・指示に基づき、単独または共同で農作業を行う。大型農機の運転技術・作業技術の習得。農業経営について学ぶ（2～3年目、研修会参加、財務諸表作成、税務申告書作成）</p> <p>●3年目：栽培計画の協議・作成、栽培計画に基づき短期・中期・長期的な目線で農作業と進捗管理を行う。トラブル把握・対処方法を習得する。また、独立就農（法人への雇用就農含む）に向けた相談受付・助言・準備支援（1年～5年の農業計画作成、独立後の借用圃場・設備・施設の確保）を行う。</p> <p>●任期満了後： 独立就農の場合・・・借用農地の確保と手続き支援（弊社借用農地の契約変更含む）、農機具の貸出（緊急時の農作業支援含む）、栽培指導・助言、非繁忙期の短期臨時雇用 法人雇用の場合・・・弊社での社員採用</p>

	<p>◆主な年間栽培スケジュール※</p> <p>1月～4月：スイートコーンの準備作業～播種～収穫直前までの作業 春作野沢菜の栽培～収穫・出荷、夏野菜の準備</p> <p>5月～6月：除房（ヤングコーン出荷）、スイートコーン収穫・仕分 ・出荷・販売、収穫後圃場および資材の片付け なす定植・初期の栽培管理・収穫出荷 水稲圃場の準備</p> <p>7月～10月：水稲（田植・生育管理・稲刈り・片付け） なす及び秋作野沢菜の栽培・収穫・仕分・出荷 果樹の栽培・収穫・仕分・出荷</p> <p>12月：圃場・資材・機材の片付け、翌期の栽培に向けた準備。 果樹の休眠期作業（～2月）</p> <p>※年度途中からでも隊員活動は可能</p>
5 必要とする隊員数	最大3名（但し、独立就農時の圃場斡旋のため毎年度ごと1名）
6 隊員の役割や活動内	<p>（1）アグリ甲斐の営農指導により、農業技術の習得、農作物の栽培・収穫の生産活動</p> <p>（2）農業者や地域住民とコミュニケーションを図り、現場において色々な情報を収集し、SNS等を活用して市川三郷町の農業・農作物の魅力や情報を発信する活動</p> <p>（3）農業体験・収穫体験等の各種農業イベントへの参加、その他農業振興を図るための取り組み</p>

7 隊員に求める人物像	<p>（1）農業に対する関心が高く、活動期間後、市川三郷町に定住し地域農業の担い手となっていただける方</p> <p>（2）心身ともに健康で、誠実に職務に取り組み、自ら考える意欲と実行力がある方</p> <p>（3）地域の特性や風習を尊重し、地域住民と積極的にコミュニケーションを図ることができる方</p> <p>（4）SNS等のツールの発信に長けている方 （意欲的に習得する気概があれば未経験者も可とします）</p> <p>（5）年齢満20歳以上、満45歳未満の方（独立就農時に公的補助の年齢条件があるため）</p> <p>（6）原則、隊員として3年間継続できる方（独立就農時に計画的な圃場斡旋を行うため）</p> <p>（7）自動車運転免許（AT車限定は任命までに解除可能な方、農耕用大型特殊自動車運転免許は隊員任命後に取得研修あり）</p> <p>■希望する地域おこし協力隊像■</p> <p>アグリ甲斐は、新たな地域農業の担い手を育成するための就農支援を</p>
-------------	--

	<p>行っています。作業内容は、同じ独立就農を目指す研修生とチームを組み実践研修を行います。それぞれの研修生が切磋琢磨しお互いを認め合えるような農業者になってもらい地域で独立してもらうことが目的です。高い志とビジョンを持った方を募集します。</p> <p>農業は自然相手ですので非常に厳しく、朝早くから作業を行い、農繁期には暑い最中続けての作業になることもあります。また、作業によってはホコリまみれになり雨の中、泥だらけになることもあります。力仕事もありますし、延々と同じ作業を繰り返すこともあります。過去には2年持たずにやめてしまった隊員もいて、もしかすると理想の農業とかけ離れているかもしれません。アグリ甲斐は、就職の支援機関として地域の担い手を育てるという使命を感じていますが、農業に適さず継続できない方や、同僚とチームワークが取れない方であると協力隊員並びに支援機関のお互いが不幸な結果となってしまいます。生半可な志やビジョンで農業や自然にむき合うのは難しいと考えます。自然と向き合い言い訳せず自分に厳しく、他人を尊重するといった謙虚な心を持ち、自己責任において自分のため地域のために責任をもって活躍できる方をアグリ甲斐は求めています。</p>
<p>8 隊員の町内での生活及び町内への定着のための支援内容</p>	<p>アグリ甲斐は地区のJA生産者部会に所属しています。作物ごとに研修会・説明会に参加して頂きます。生産者部会メンバーには弊社で実践研修修了者（地域おこし協力隊、ほかの研修制度修了者）が多数いて、農業技術情報などの共有を図るなど交流が盛んです。市川三郷町内外に同様な立場で弊社在籍の社員・研修社員もいますので、見ず知らずの土地での疎外感・孤立感を感じないようにサポートしています。</p>
<p>9 隊員の任期满了後の定住のための支援内容</p>	<p>●雇用・・・隊員任期满了後、弊社等にて就農者育成スタッフ、農業関連スタッフとして採用（隊員任期中の考課および選考試験）</p> <p>●独立・・・一般的な研修制度では新しく借り受けた農地を斡旋することがほとんどです。弊社においては独立時のリスク軽減のため、弊社にて適正な栽培実績のある借入農地の中から、本人との協議を経て農地を斡旋・紹介するよう取り組んできました。農業関連団体（JA全中等）からは、このようなサポート事例は全国的にも見当たらない（借入農地のれん分け制度）との高い評価を頂いています。</p> <p>また、作業場に関しては、JA遊休施設を独立時の初期的な作業場として利用可能としています。</p>